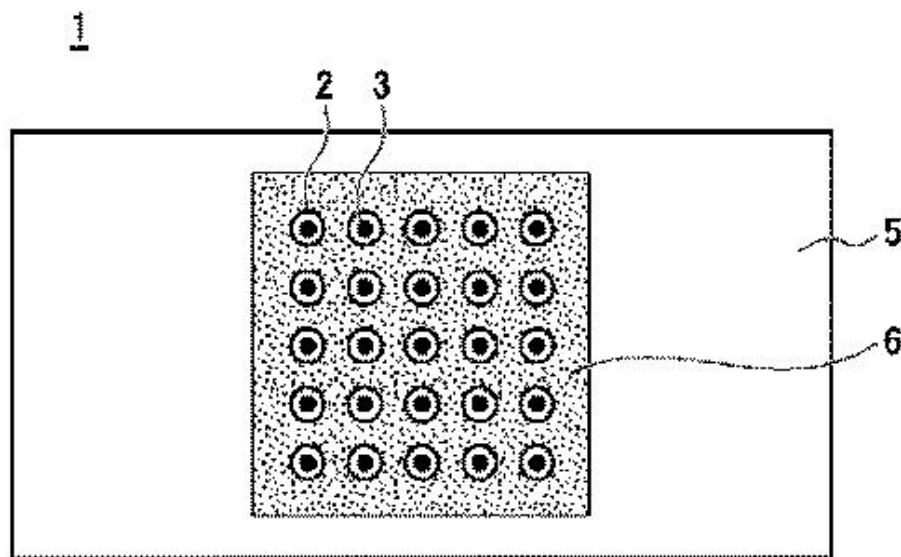


化学

目標の匂いを構成または匂いを修正する方法

発明の名称	匂いの定量方法、それに用いる細胞及びその細胞の製造方法		
出願人/権利人	株式会社香味醗酵	発明者	黒田 俊一
出願日	平成30年8月16日	出願番号	2019-536790
公開番号	WO2019/035476	特許番号	—
法的状態	出願中		

代表図



1 アレイ 2 貫通孔 3 核酸
4 真核細胞領域 5 基板 6 疎水性被膜

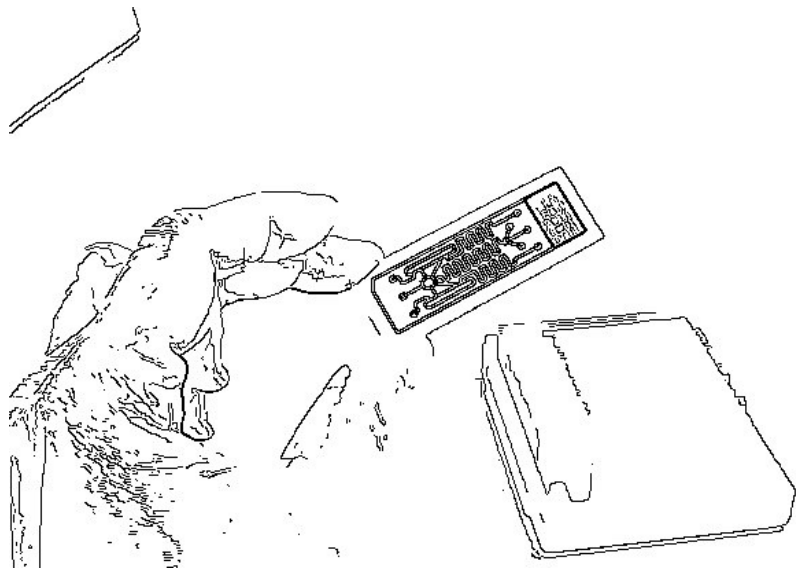
発明の概要

被験物質による活性化度を一括測定し、具体的な数値として評価する方法

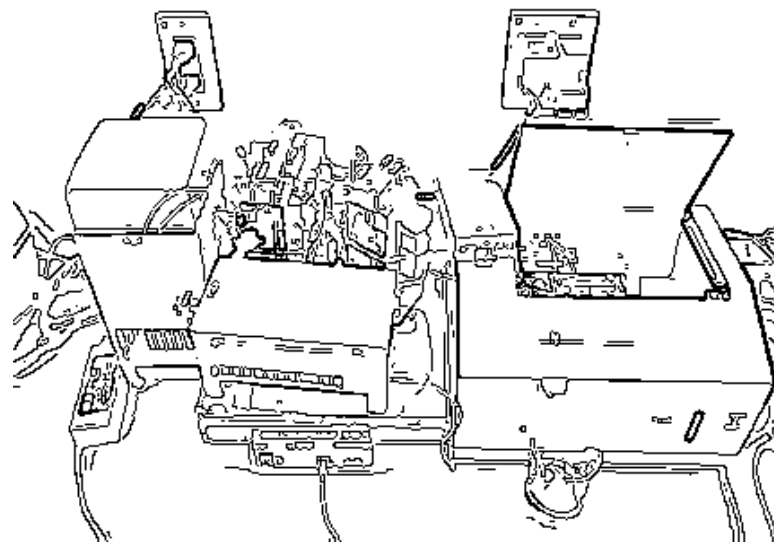
特徴

受容体が嗅覚受容体であるときに、測定した活性化度をもとに、目標の匂いを構成する方法、また、目標の匂いに修正する方法である。複数の受容体を、それぞれ異なる貫通孔内の核酸上の真核細胞に発現させるデバイスを構築する。そして、デバイスの各貫通孔内に真核細胞を複数收容、受容体を発現させる。被験物質による活性化度を一括測定し、具体的な数値として評価する。基板と基板上的の疎水性被膜を含み、疎水性被膜は複数の貫通孔を有している。また、貫通孔の内部に、所定の受容体をコードする遺伝子を含む核酸が、基板に接して設けられているアレイを有している。

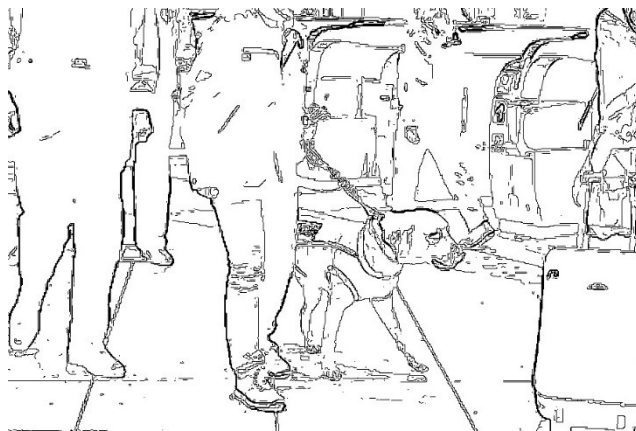
応用の可能性



バイオセンシング



食品検査



セキュリティ(駅構内などの臭気)

など

応用の可能性

- ・バイオセンシング
 - ・セキュリティ(駅構内などの臭気)
 - ・食品検査
- など

本技術の活用が見込める企業の一例

- | | |
|----------------|-------------------|
| ・和光純薬工業株式会社 | ・日本分光株式会社 |
| ・株式会社LSIメディエンス | ・ウシオ電機株式会社 |
| ・株式会社島津製作所 | ・GEヘルスケア・ジャパン株式会社 |
| ・アークレイ株式会社 | など |
| ・室町機械株式会社 | |

株式会社香味醗酵の本発明に関する最新動向

- ・株式会社香味醗酵のホームページ(<https://komi-hakko.co.jp/>)には、本件特許に関連する情報や製品についての情報は見受けられない。